



## ○ 柳井学園

「職業理解講話」を行うため、6日(木)に訪問しました。1年生96名を対象として2分野の講座を設定しました。一つはキャリアデザイン(CD)校が医療事務科とデザイン科についての説明です。もう一つは保育&ビジネス(NB)校の保育・幼児教育についての内容です。学年全生徒を半分に分けて両方受講してもらいました。講師は私ではありません。CD校は戎井・矢野、NB校は中村敦・峠本が講師となりました。



柳井学園は本校の学校評価委員をお願いするなど、よくお世話になる高等学校です。私個人としては上関中学校の野球部顧問だったところに練習試合をしていただきました。また、熊毛中学校の時は生徒の進学に関してお世話になりました。

ところで野球の練習試合ですが、中学生と高校生で試合になるのだろうかという疑問点が浮かぶことでしょう。しかしその時の中学生投手はうまく高校生の打者を抑えてくれました。軟式と硬式では勝手が違うようですね。守備にしてもゴロの跳ね方が違うので向こうは守りにくそうでした。それにしても、そのあとしばらくして柳井学園が甲子園初出場を果たしたことはびっくりしました。上関中学校は生徒数が減り、今は野球部がないということで私はさみしく思っています。

話がそれてしまいましたが、あらためて「職業理解講話」です。



中学校を卒業して入学し、1学期が終わろうとするこの時期、柳井学園の1年生たちは高校生活に慣れてきたというところでしょうか。期末試験もほぼ終わりに近づき少しほっとしている雰囲気を感じました。また、野球部は甲子園の予選大会本番が間近です。1年生で出場する子はあるのかな?活躍してほしいと思います。

保育・幼児教育では保育園、幼稚園、認定こども園の違いなどの話のあと、子どもになったつもりでいろいろな“遊び”を経験しました。アンケートによると興味のある男子生徒もいることが分かりました。医療事務では診療報酬点数(患者さんの治療費)、保険証などの話のあと、さまざまな治療内容のカードを使ってビンゴゲームを行いました。単純にビンゴになったグループが勝利とはならず、“並び”×点数で得点が決まる方式でした。野球部員たちのグループが特に盛り上がっていました。高校生たちの素直な表情が印象に残りました。

## 自校自賛

2年生の「子どもと造形表現」の集中講義が行われました。担当は久保田恵美子講師です。久保田先生は私の大先輩であり、かつて造形教育研究会でも大変お世話になりました。「造形」の授業があるときはあらためていろいろなお話ができ、いつも懐かしさと新鮮さを感じています。今回はマーブリング等の技法を試したりしました。午前中は大雨が降り、どうなることかと思いましたが、前線が南下し午後には外での作業ができました。アリーナでは前回制作した紙版画が展示されていました。その中から私の独断と偏見により賞を選んでみました。(敬称略)

### 題名がいいで賞

「歩くライオン」: 松根瑠伽

「生まれたい!!」: 西村梨楠

「トラに驚いている男の人」: 河村明日香

トラが斜めに向かってくる迫力があますね。

「かえるの親子」: 近藤智恵美

お母さんが大きくて懐の広さを感じます。

子どもにたくさんの兄弟姉妹がいるともっとよかったね。



作品賞